

花きの市場別販売概況(4月見通し)

令和3年3月31日現在
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目		販売における現状と今後の見通し	
バラ	現状	西南暖地中心に3月中旬より増加傾向。しかし、重油の価格上昇に伴い、例年なら増加する産地もやや遅れが見られる。中旬から下旬にかけ、送別需要等の需要も回復。輸入品は国際情勢悪化の中、航空貨物の延着や未着があり、集荷に苦戦した(大田花き)。山形、栃木、群馬、静岡、愛知等 卒業、歓送迎需要で3月頭から高値 後半も安定需要があった(FAJ)。前半は昨年比、1割ほど少なく高値。後半は気温の上昇とともに、いきなり増える(世田谷花き)。卒業、年度末需要で引き合いがみられる。各産地下旬に入荷量が順調になってくる(東日本板橋花き)。	
	見通し	大田花き	入学需要等はあるが、遅れていた分の入荷も纏まる見込み。静岡の一部や、高冷地の低温管理されていた商品が増加する。相場も落ちつくと思われるが、例年より婚礼需要は多いことが予想される。輸入品は需要期でない為、激減する。
		FAJ	栃木、千葉、神奈川、静岡、愛知等 数量は徐々に増加するが需要は落ち着くため弱保合相場の見込み
		第一花き	
		世田谷花き	単価は落ち着く見込み。各産地とも潤沢にそろろう。
東日本板橋花き	入荷量は産地数が増えて潤沢になってくる見通し。		
アルストロメリア	現状	気温の上場に合わせて入荷量も増加。葬儀中心に、お彼岸需要、送別需要などの需要高まり、単価高での販売となった(大田花き)。山形、長野、愛知より入荷で昨年並の数量。量販中心に小売も安定した引き合い、後半は落ち着く(FAJ)。需要期に向けて増量。安定した販売。下旬に向けて引き続き潤沢(世田谷花き)。愛知中心の入荷。昨年より多い入荷。彼岸、卒業式需要で引き合い強い(東日本板橋花き)。	
	見通し	大田花き	例年であれば3月中旬より改植を開始するが、海外からの苗の納品が遅れており、改植作業も遅くなる。そのため、4月は例年より数量が多くなる見込み。葬儀中心に、ブーケメーカー・サブスクへの提案を進める。
		FAJ	長野、山形が最盛期となりロットのまとまった入荷を予定。大きな引き合いはなく厳しい販売となる見込み。
		第一花き	
		世田谷花き	気温上昇と共に増量。
東日本板橋花き	愛知、青森中心の入荷。昨年並みの出荷量の予定。		